

教員氏名	若松亮太	職位	助教
最終学歴	Monash University, Doctor of Philosophy		
学位	Doctor of Philosophy (Sociology)		
役職		委員会	入試委員会
担当科目	異文化研究 日本語表現 I / II 地域研究 III (オセアニア) NGO・NPO 論 English in Action I / II Communication Skills V Advanced English II / VI		
教科書・教材・教育方法の実践例	異文化研究 (2023、2024 年度) : 様々な文化的背景を持つ人々のナラティブ (語り) を読み込み、学生自身が異なる文化を分析し理解する方法を身に着けられるように設計し、指導している。		
教育研究業績	著書 1. 「災害時の情報アクセスと内容理解—外国人住民の「混乱」の背景にあるもの」、『東日本大震災と外国人移住者たち』明石書店、174-189 頁 (2012 年、単行本、分担執筆) 学術論文 1. 「希望を求めて —原子力災害以降の移住者のナラティブ分析から—」(査読付) 『オーストラリア研究』 35 号、18-31 頁 (2022 年 3 月、単著) 2. 「2011 年の原発事故を契機とした海外移住」(査読付) 『移民政策研究』 12 号、129-147 頁 (2020 年 5 月、単著) 3. 「ナラティブを媒介としたアクティブラーニングの実践」(実践報告) 『名古屋短期大学研究紀要』 第 62 号、101-114 頁 (2024 年 3 月、単著) 報告 1. 「海外に渡った福島原発事故避難者の難民性について—環境正義の視点からの検討」『難民研究ジャーナル』 第 10 号、132 - 134 頁 (2021 年 3 月、単著) 2. 「移住が作り出す可能性：地域おこしへの貢献」『桜花学園大学観光総合研究所事業報告書』 第 18 号、97-106 頁 (2024 年 3 月、単著)		

	<p>学会発表</p> <p>1. Metaphors for Hope: An Analysis of the Narratives of Nuclear Disaster Migrants (Japanese Studies Association of Australia (JSAA) 2021 Conference、(2021 年 10 月、於クイーンズランド大学・オンライン))</p> <p>2. 破壊から希望へ：原発災害後の海外移住が意味するもの (豪日交流基金 (AJF) 助成シンポジウム「フクシマから始まる越境：オルタナティブを考える」、オーストラリア学会 2021 年度全国研究大会 (2021 年 6 月、於福島大学・オンライン))</p> <p>3. Historical Memories in Migrants' Narratives: Japan' s Modern History and the Fukushima Nuclear Disaster (移民政策学会 2019 年度冬季大会 (2019 年 12 月、於長崎大学))</p>
<p>所属学会</p>	<p>移民政策学会、オーストラリア学会、Japanese Studies Association of Australia (JSAA)、Asian Studies Association of Australia (ASAA)</p>